

【研究概要】

(新規課題)

マクロファージ機能修飾による炎症病態治療薬の新規開発

免疫学フロンティア研究センター免疫細胞生物学・宮本 佑

免疫細胞の一種であるマクロファージは、異物の貪食消化とサイトカイン産生により炎症を制御する。近年、マクロファージの機能破綻が多くの炎症性疾患に関わることが明らかにされつつある。そこで本研究では、マクロファージの機能を人為的に操作可能な物質を探索し、それを用いた炎症性病態の新規予防・治療法の開発を目指す。特に本研究では、長寿関連腸内細菌が産生する代謝物に着目し、肝臓における炎症を制御する技術開発に取り組む。